

令和7年度の財政見通し

WEB 1010167

～過去の推移から見て～

令和7年度予算は、賃上げや物価高騰等の影響により、市税が増収となるものの、事務事業に係る人件費や物件費が大きく増額することになりました。その結果、依然として基金の取崩しと市債の借入れによる財源調整が続くため、行財政改革による各種歳出削減策を徹底し、あわせて必要な財源を確保することができるよう努めてまいります。

予算額の推移(一般会計)



市債残高の推移(普通会計)



基金残高の推移(普通会計)



実質公債費比率と将来負担比率

◎実質公債費比率

借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

5年度	6年度(見込)	7年度(見込)	全国平均(5年度)
6.4%	6.3%	6.4%	5.6%

◎将来負担比率

借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

5年度	6年度(見込)	7年度(見込)	全国平均(5年度)
55.8%	67.3%	80.3%	6.3%

※令和7年度予算概要等の詳細については、市公式ウェブサイトをご覧ください。

問 財政課 ☎ 444・1714